# お金は、地域の中で回ります

## 市民の皆さんのお困りごと（解決）
## 地域関係者の（仕事）が生まれる
## 「Win-Win（相互扶助）」

**み・まも～る プラス　まごころ（ちょこっと）サポートは、（循環型）まちづくりエコシステム**



自治体の財政悪化や人口減少が進む現代において、地域の自立と持続可能性を確保するために極めて重要です。

参加関係者が、大きな資金的リスクを抱えず、低コストで参入できる持続可能な、地域の課題解決のビジネスモデルです。

### 4つの流れ

1. 
お電話でご相談

2. 
キャストがお手伝い

3. 
チケットでお支払い

4. 
地域の活動費へ

※ 仕事が地元の事業者につながったときの紹介手数料も、まちづくりの資金として地域に戻ります。





# 市民の皆さんで地域の皆を支えませんか？

**お寺さん・檀家のみなさま**

お寺が地域の窓口になり、困りごとを預かります。受け取ったチケットの一部は、お寺の地域貢献費になります。

**アクティブシニア・ご近所のみなさま**

「まだまだ元気だから役に立ちたい」という想いが、正当な対価として評価されます。困ったときは支えられる側に回れます。

**学生のみなさま**

学校では学べない生きた社会勉強になります。自分の時間が正当に評価され、地域とのつながりも生まれます。

お問い合わせ

**0572-22-3500**

受付 10:00～16:00（新聞休刊日と土日祝を除く）

**まごころちょこっとサポート 運営事務局**
多治見中日サービスセンター
中日新聞販売店 株式会社両藤舎（担当：佐藤）
〒507-0026 多治見市虎渓町1丁目31

**事業サポート**
まごころちょこっとサポートセンター
株式会社両藤舎内（担当：三宅）　TEL 070-4497-0111

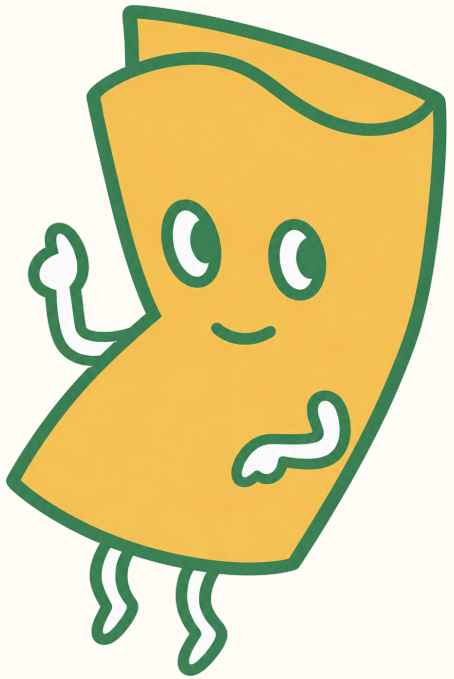




地域のむすびプロジェクト

# 長生きを喜べる社会を、この町から。

**汗をかいた人が、正しく報われる仕組みをつくります。**



しんぶん君©

高齢社会生活支援サービス

ちょこっと

## 「まごころ　サポート」

み・まも～る プラス ／ 施設・団体のみなさまへ

**多治見中日サービスセンター**

中日新聞販売店 株式会社両藤舎

## 善意だけに頼る仕組みは、いつか限界がきます

現場では「シニアの方の日常のささいな困りごと（草刈り、家具の移動、電球交換、買い物）のご相談を受けるけれど、制度の壁や人員不足で対応できず、歯がゆい思いをしている」ということが起きています。

**私たちが目指すのは、慈善事業ではありません**

弱い人に施しを与えるのではなく、**汗をかいた人が報われ、努力や行動が正しく評価される仕組み**をつくります。

**ご利用になる方**

**3,000円**

1シート（300円券×10枚）をお求めいただきます。お手伝いの時間の分だけ、キャストへお渡しください。

▼

**参加する団体のみなさま**

**300円**

1シートにつき**300円**を「地域支援協力費」としてご負担いただきます。この300円が、**地域の活動費**になります。

**なぜ300円をいただくのか**

ただ手伝ってもらうのではなく、参加するみなさんにも「自分たちが地域の活動費を出している」という実感を持っていただきたいからです。その積み重ねが、次の支援の原資になります。





## 地域連携で生まれるそれぞれの効果

**介護事業者のみなさま**

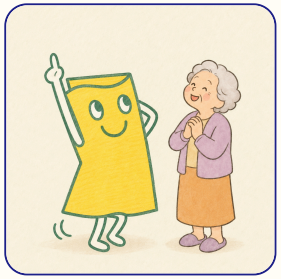
介護保険の対象外として断らざるを得なかった生活支援を、チケットで外部のプロへつなげます。利用者さまの満足度が上がり、まだ要介護ではない元気なシニア層との信頼関係づくりにもつながります。

**まちづくりNPO・地域支援組織（RMO）のみなさま**

マッチングが成立したときの紹介手数料の一部が「まちづくり資金」として地域活動費へ還元されます。資金不足で諦めていた課題解決や、新しい担い手づくりができます。

**地域包括支援センターのみなさま**

窓口に寄せられる非公式な生活相談の確実な受け皿になり、相談員さまの負担が軽くなります。「ポストに新聞が溜まっている」といった日々の気づきが、早期発見・孤立防止につながります。



**お困りごとの「地産地消」で地域活性化**

地域の困りごとを、地域の人材と資源で解決します。





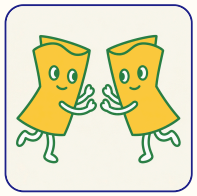
## 施設・団体の中で完結する運用もできます

チケットの発行・利用・精算を、施設や組織の中だけで回す形です。



**1 チケットの管理と発行**

施設・団体が発行元となり、番号を管理したチケットを、ご利用者さま・ご家族さまへお渡しします。台紙と管理表は事務局がご用意します。



**2 キャスト（支援者）の登録**

お手伝いをする方は、施設のスタッフ・お寺の協力者・近隣の有償ボランティアなど、顔の見える信頼できる関係者をあらかじめ登録します。



**3 施設の中での精算**

お預かりしたお金の管理と、キャストへの精算は施設の窓口で完結します。外へ資金が流れず、施設を中心とした小さな支え合いの輪ができます。

**働くみなさんの励みにも**

介護保険外の「ちょっとした対応」を一律12分300円でルール化でき、プラスアルファの汗をかいたスタッフに、正当な対価としてお返しできます。